

リコーダーコンテスト 録音データ送付について

第 52 回リコーダーコンテストでは、録音でのエントリーを認めます。

また状況に応じて、申込後の生演奏から録音へのエントリー変更も認めます。

会場での生演奏審査が難しい状況になった場合は、全ての団体を録音審査に切り替える可能性もあります。そのため、生演奏でエントリーした団体も、念のため提出用の録音データを作成しておくことをおすすめします。

【注意事項】

- ①必ず、申込書に記載したメンバー・編成で演奏すること。
- ②演奏時間は 6 分におさめること。最初の音が鳴り始めてから、最後の音が終わるまでが演奏時間です。複数の曲を演奏する場合、曲間も含めて 6 分にしてください。
※演奏開始前・演奏終了後の時間は含めません。
- ③データ形式は mp3 にすること。違う形式の場合は変換してください。わからない場合はご相談ください。
- ④複数の曲や楽章を演奏する場合も、1 ファイルにまとめること。
- ⑤ファイル名は「部門_演奏形態_団体名_曲名.mp3」とすること。
(例) 小学生の部_独奏_〇〇小学校_うぐいす.mp3
- ⑥演奏の細部が聞き取れる音源を送付すること。残響が大きすぎる場所で録音した音源や、音が小さすぎる音源、音が大きすぎて割れている音源、加工によって響きを増した音源などは、審査に支障をきたす場合があります。できるだけ生音に近いクリアな録音が審査に向いています。
※演奏が聞き取れる程度の雑音などは問題ありません。

送付方法：メール添付（約 200MB まで可）、またはギガファイル便等のファイル転送サービス

宛先：東京リコーダー教育研究会コンテスト事務局 mail@tokyorecorderseminar.com

締切：12月17日（日）24:00

※録音データ受領メールをお送りします。メールが来ない場合はご連絡ください。

※全団体録音審査に切り替える場合は、改めて締切をご連絡いたします。

録音データ送付について、ご不明な点やお困りのことがございましたら、メールにてお問い合わせください。

東京リコーダー教育研究会 コンテスト事務局

mail@tokyorecorderseminar.com